

NILIM 2015

国総研レポート 2015



狭い道路でも設置しやすい「生活道路向け防護柵」の実車衝突実験

○ 「NILIM2015 国総研レポート2015」とは

国総研の取り組みの考え方を伝えるメッセージと、2014年に進めてきた研究活動や成果、今後本格化しようとする取り組みを、幅広く紹介しています。

「NILIM2015 国総研レポート2015」のイメージカラーである「赤色」は、社会資本を巡る諸課題を克服し、夢を持って「美しく安全で活力ある国土」の実現に取り組む研究者の「熱意」を表しています。

NILIM 2015

国総研レポート 2015



【表紙写真の解説】

「生活道路向け防護柵」の実車衝突実験
(平成 27 年 2 月 10 日実施)

生活道路で、歩道を歩く歩行者を交通事故から守ることを主な目的として、試作した防護柵の衝突実験を行いました。実験では、総重量 8 トンの車両が時速 40 キロメートルで衝突した場合でも歩行者が守られることなどを確認しました。

この防護柵は、一般的なガードレールに比べ、断面幅が小さく、歩行空間に馴染み、生活道路でも設置しやすい構造を目指したものです。

(写真の一部を加工処理しています。)

国土交通省国土技術政策総合研究所

National Institute for Land and Infrastructure Management

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism